

はばたけ!

帯広市立大空中学校だより

# 星と森の大空へ

No.13 令和元年 7月24日発行

～ 学校教育目標 ～

北の文化を拓く

「明るく健康な心身と個性

豊かな英知を育む」

## さあ、夏休み。自ら鍛えよう・磨こう 夏を制するぞ!

校長 黒島 俊一

本日で1学期が終了し、子ども達が待ちに待っていた27日間の夏休みに入ります。

さて、突然ですが、保護者のみなさんはご自身がどんな中学時代の夏休みを過ごしたでしょうか。また、何を一番楽しみにしていたでしょうか。部活動に情熱を傾けたことでしょうか。受験に向けてひたすら勉強したことでしょうか。中にはゲームがたくさんできると心待ちにしていたこともあるでしょうか。中には辛かったこともあったかもしれません。

明日からお子さんはチャイムのある規則正しい生活から解放されます。夏休みの生活に成功した(失敗した?)先輩として、お子さんのこれまでの夏休みの生活をふまえ、アドバイスしてほしいと思います。

夏休みは目的意識、課題意識を明確に持たなければ、時に「自由の迷子」になってしまうこともあります。漠然と貴重な日々が過ぎてしまわないことを願いつつ、各教科ではたくさんの課題が出されていますので、どんな宿題がどれだけ出されているのかについても、ご家庭で関心を持ちながら、ご家族の計画を立ててほしいと思います。

また、夏休みは学校での集団生活から離れ、自己を鍛錬する期間とも言えます。サボろうとすればいくらでもサボり、怠けることもできますし、何もなくてもその時には注意を受けなくて済むかもしれません。そばに大人がいなくても、自分を律するのは自分しかいない、自分自身でコントロールするという意識を持ち、一段高みに自分を成長させていくことができるのも、この夏休みです。とりわけ、受験生である3年生には、一日一日がとても大切になります。

春にたくさんのきれいな花を咲かせる桜は、春になってから急に作られるわけではなく、冬のうちから、人知れずつぼみをふくらませ始めているといわれます。そして花の芽を作り始めるのは、前年の夏から。つまり、桜は春に花を咲かせるために、長い期間をかけて準備し、少しずつ成長し、美しい花を咲かせることができるのです。3年生のみなさんは、それぞれの目標や夢に向かって、来年の3月の春に花を咲かせてほしいと思いますし、2～3年生の子どもたちにとっても、心身ともに大きく成長する大切な時期です。この夏休みをどのように過ごしたらいいのか、親子でよく考えて、充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。「やった、がんばった、成し遂げた!」という達成感と満足感に満ちた表情で始業式に子どもたちと会えることを願っています。



学期末大掃除の様子から。よくはたらく大空の子。  
家でのお手伝いもしてほしいです。

### 1. 早寝早起き朝ご飯

全ての生活リズムはここから。お子さんの1日の生活に声かけを、ともに行動することが大切。朝からしっかり食べて、脳にエネルギーを。

### 2. 家族であいさつしよう

人と人との心をつなぐかけはしです。家族だからこそ大切に。

### 3. 家族で会話しよう

聞いてもらえる喜びは互いの心を豊かにします。愛し、愛されている実感を。

### 4. 手伝いを習慣にしよう

家族の一員としての役割は責任と自立の心を育みます。子どもにも「ありがとう」の言葉を。

### 5. 勉強や読書の時間を決めよう

バランスのよい学習計画と、メリハリと切り替えのある一日のスケジュールを。

### 6. テレビやゲームのルール

依存による弊害は今や社会問題化。携帯電話の所持率が高い本校。気にかけてほしい使い方。

### 7. 子どもの姿をみつめよう

子どもの心に寄り添って、子どもが出す心のサインをみのがさない。気がかりなことは早めに担任へ。中学生の行動管理、時間管理、金銭管理などの自己管理は、保護者も知るところで。

夏休みこれだけは

## 令和元年度 大空中学校 学校評議員

高倉美恵子 氏 (4年目 大空小図書館ボランティア 主任児童委員 市社会教育委員副委員長)  
 高坂 隆藏 氏 (4年目 元人権擁護委員)  
 久保 竹雄 氏 (1年目 大空地区連合町内会長)  
 米原 良信 氏 (1年目 学校支援ボランティアコーディネーター)  
 西島 寛 氏 (1年目 大空小中校区青少年健全育成連絡協議会長)

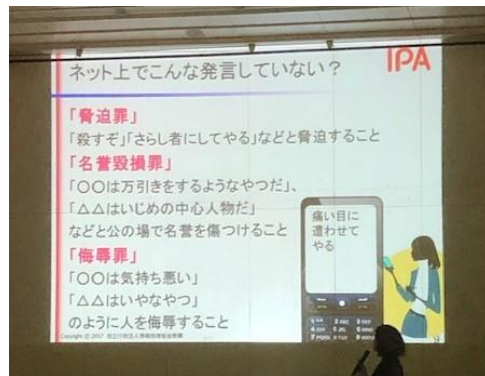
学校が開かれた特色ある教育を目指すため、保護者や地域住民の願いや思いを聞き、その支援を得ながら学校改善に資する学校評議員制度は、帯広市で平成15年に始まりました。本校でも、様々なお立場で、それぞれでご活躍され、豊富なご経験のある評議員5名のみなさんから、毎年ご意見を頂戴しています。過日第1回目の学校評議員会が行われました。

会議では、今年度の学校経営方針や学力学習状況調査の結果、過日実施した義務教育学校開校に向けた「めざす子ども像」のアンケートの結果報告を経て、大空地区の子ども達の様子について情報交流しました。

あいさつの習慣化などへの評価、素直でおおらかでやさしい子ども達のよさなどの話はうれしい話でしたが、学力向上に向けた論議では、子どもたちの「わかりたい」という気持ちに答えていく事の大切さ、できた喜びを味わわせるための、基礎的基本的な内容の確実な定着の重視、家庭学習や宿題なども含め、できるまで徹底して取り組ませることで、子どもたちの自信をもつてくるなど、切り込んだご意見もいただきました。

地域人材不足の声もありましたが、今後、本校はコミュニティスクールのモデル校としての取組も始まります。こうしたことから、子ども達を健全に育てていくためには、地域の力が改めて必要です。今後も貴重なご意見を頂きながら、よりよい学校経営に努めていきたいと考えています。

学校応援隊  
 学校評議員会がめ



## DSD ソング

軽はずみでいう言葉で  
 世界が壊れる音がした  
 冗談で済まされない  
 鋭い言葉のナイフ

やめようよ その一言で変わるはず  
 皆一緒に差しのべようよ 救いの手  
 かけてあげよう優しい言葉  
 皆で守ろうDSD

あなたが言うその言葉で  
 世界が変わる音がする  
 太陽が与える勇氣  
 周りの目を気にしないで

やめようよ その一言で変わるはず  
 皆一緒に差しのべようよ 救いの手  
 かけてあげよう優しい言葉  
 皆で守ろうDSD



写真上

DSD 合唱の様子から

## 情報セキュリティ教室 『「SNS」の危険性』

東京より独立行政法人 情報処理推進機構の奥田美幸氏をお招きし、1年生ならびに保護者を含めた大空中エリアのみなさんも対象とした講演会を行いました。

全国的に一時SNS上で、食品を扱う職場でのあつてはならない不衛生な動画のアップが取りざたされて社会問題となりましたが、こうした事例も含め、自分で自分の将来に傷を付けてしまうことにもなりかねない個人情報公開することの怖さ、今や社会問題化もされているネット依存症と犯罪の危険性、ネット社会の怖さなどわかりやすく説明いただきました。また、根本として世の中は人と人との信頼関係で成り立っていることなどにもふれられ、自分がネットと接触することの意味を考えさせる内容となりました。

## 「中学生の日」の取組

本校生徒会が中心となって、7月18日に中学生の日の取組が行われました。平成29年に生徒会で作成した「DSDソング (Don't Say Die)」(左)を歌った後、グループでいじめ非行防止に向けた意識を確認しあったり、昨年度の後期生徒会が、あいさつをテーマに作成した「心あったかCM」をみんなで視聴したりしながら、言葉、敬語について考え、いじめのない、仲間を思いやる学校をみんなであつていく決意を新たにしたりと、みんなで行動化していきましょう。